

第9回神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会開催のお知らせ

記者発表資料

神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会(平成17年11月設置、委員長:中村文彦横浜国立大学大学院工学研究院教授)では、各種調査データ、道路利用者からのアンケート結果等を参考に、要対策箇所の13地区34箇所を選定(参考4-2を参照)し、渋滞対策を推進しているところです。

今回の委員会では、これまでの渋滞対策実施状況やパブリックコメント(参考 4-1、4-2を参照)の実施結果、新たな要対策箇所の選定や今後の取り組み について議論する予定です。

【第9回委員会の概要】

· 日 時: 平成23年2月28日(月) 14時~16時

・会 場:神奈川県庁 新庁舎 10階 県土整備局会議室(参考1を参照)

・委 員:参考3のとおり

・議事内容

- ・要対策箇所(13地区34箇所)の対策実施状況
- ・パブリックコメントの実施結果
- ・新たな要対策箇所の選定
- ・今後の取り組みについて
- ・報道取材及び一般傍聴について 報道取材及び一般傍聴が可能です。(参考2を参照)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ/神奈川建設記者会/神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会/横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 0 4 5-3 1 1-2 9 8 1 (代表) 地域広報官 徳嵩 公明(とくたけ きみあき)(内線 2 0 4) 計画課長 平岩 洋三(ひらいわ ようぞう)(内線 2 6 1)

●神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会とは

神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会(委員長:中村文彦横浜国立大学大学院工学研究院教授、事務局:国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所計画課)は、神奈川県内における自動車の移動を阻害する要因となっている事象を様々なデータと指標で明示するとともに、道路利用者の実感・意見等を踏まえ、阻害箇所の選定・公表を行うことを目的に、平成17年11月に設置しております。

平成22年3月までに8回の委員会を開催し、平成23年2月28日に第9回目の委員会 を開催します。

・これまでの委員会開催経緯

第1回委員会(平成17年11月実施) 第2回委員会(平成18年1月実施)

道路利用者アンケート(平成18年2月実施)

第3回委員会(平成18年3月実施)

第4回委員会(平成18年9月開催) 第5回委員会(平成19年3月開催)

第6回委員会(平成20年3月開催) 第7回委員会(平成21年3月開催)

第8回委員会(平成22年3月開催)

• 神奈川県の交通・地域特性の把握

- 要対策箇所の選定及び確定【13地区34箇所】
- 要対策箇所の対策実施
- 要対策箇所のフォローアップ
- 新たな渋滞対策の取組み検討
- 要対策箇所のフォローアップ
- 要対策候補箇所(案)の選定【38箇所】

パブリックコメント (平成22年11~12月実施)

第9回委員会(平成23年2月28日)

<今年度実施のパブリックコメントの目的>

- 要対策箇所(13地区34箇所)のうち、既に対策が実施された箇 所の効果についての実感を把握
 - 要対策候補箇所(案:38箇所)の混雑の実感や対策の必要性、 その他意見の収集

委員会は公開にて開催しており、過去8回までの委員会資料を国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所のホームページで公開しています。

http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/dorogyosei/mobility.htm

●要対策箇所とは

移動性の阻害要因となっている事象を様々なデータや指標で明示し、道路利用者の実感・意見などを踏まえて選定された箇所。「渋滞状況」、「道路構造」、「気象・自然災害」等の指標で抽出された34箇所を設定し、現在、対策を進めています(調査・計画段階のものを含みます)。

●要対策候補箇所とは

今後、要対策箇所として、対策を進める箇所の候補。過去の道路利用者アンケートから「移動性が阻害されている場所」として選定された箇所および交通データより抽出した箇所。神奈川県内に38箇所を選定・抽出しています。

第9回神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会 会場のご案内

日 時: 平成23年2月28日(月) 14時~16時

場 所: 神奈川県庁 新庁舎 10階 県土整備局会議室

(下記地図をご参照ください)

住 所: 〒231-8588

神奈川県横浜市中区日本大通1



交通アクセス

JR 京浜東北線(根岸線)/横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩約10分 みなとみらい線「日本大通り駅」県庁口出口から徒歩約1分

報道取材及び一般の傍聴者の参加方法について

1. 一般傍聴者

- ■傍聴を希望される方は、当日、会場までお越し下さい。
- ■受付時間は午後13時30分から午後14時です。
- ■傍聴席は用意する予定ですが、満席になった場合は入場をお断りする場合があります。
- ■駐車スペースが限られており、駐車できない場合がありますので、 お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

2. 報道取材

- ■カメラ撮りは、頭取り(冒頭から挨拶まで)が可能です。
- ■取材中は社名腕章を着用してください。
- ■受付は委員会会場で済ませて下さい。(午前13時30分から)
- ■駐車スペースが限られており、駐車できない場合がありますので、 お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会名 簿(案)

委員長 中村 文彦 横浜国立大学大学院 工学研究院 教授

委員 横田 和浩 神奈川県商工会議所連合会 専務理事

" 神志那 学 社団法人 神奈川県トラック協会 常務理事

" 山崎 利通 社団法人 神奈川県バス協会 常務理事

ッ 会田 辰三郎 社団法人 神奈川県タクシー協会 専務理事

" 三好 秀人 神奈川新聞社 営業局長

ッ 中村 行宏 テレビ神奈川 営業本部長

ル 新津 忠男 市民

ッツ 菊田 昭治 市民

" 山下 秀男 市民

** 和泉 晶裕 国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長

业 秋山 均 国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長

" 吉田 秀範 国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長

y 安田 泰二 神奈川県 県土整備部 参事

柳川 浩介 神奈川県警察本部 交通部 交通規制課長

" 小山 孝篤 横浜市道路局 計画調整部長

" 金子 正典 川崎市建設緑政局 計画部長

" 古川 交末 相模原市都市建設局 土木部長

"佐藤 降二 東日本高速道路㈱ 関東支社 京浜管理事務所長

" 多田 壽 中日本高速道路株式会社 東京支社

保全・サービス事業部 交通技術チームリーダー

パンフレット(回答ハガキ付き)表紙および裏面

神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクト ~教えてください!神奈川県の渋滞~

神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクトの概要とこれまでの歩み

国土交通省関東地方整備局横浜 国道事務所では、県内の移動性阻 害箇所(渋滞している、走りにく い箇所等)の改善を図るため、平 成17年より神奈川県移動性(モビ リティ)向上プロジェクトを実施 しています。

本プロジェクトでは、移動性阻 害簡所の要因を様々な科学的デー タに基づく分析により明らかにす るとともに、県内にお住まい・お 勤めのみなさまの実感とご意見等 を踏まえ、対策箇所の選定・対策 立案・対策実施を進めています。



現在、神奈川県内34箇所で移動性の向上 に向けた取り組みを進めています。

対策が必要な箇所を検討しています。

●アンケートは、はがき1枚の簡単な調査です。 右のアンケートにご記入いただき、そのまま 最寄のポストにご投函ください。

- ●アンケートは、裏面にもあります。
- ●みなさまからいただいたアンケートの結果は、 神奈川県移動性 (モビリティ) 向上委員会にて 渋滞対策検討を行う際の参考にさせていただき ます。

詳しい情報をご覧になりたい方は、 下記ホームページにアクセスしてください

また、追加意見等がございましたら、 下記ホームページからもご回答いただけます

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/ よここく 検索

神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクト

に是非ご協力ください。

ご意見募集期間 $11.10 \rightarrow 12.17$

以下のアンケートはがきで、 あなたが知っている いつもの渋滞箇所 を教えてください!

対策事例~ 4-1 国道1号 原宿交差点 交差点改良

【対策の概要】

原宿交差点は、県内でも有数の渋滞ポイントと して、本プロジェクトにおける要対策箇所の1つ として位置付け、これまで対策を進めてまいりま した。この対策は、国道1号と環状4号との交差点 立体化(国道1号が地下を通ります)により渋滞 を解消することを目的として、工事が進められて います。

【現在までの進捗状況と今後の予定】

国道1号原宿交差点の立体化工事は、平成21年4 月4日に東京方向(上り線)が開通し、残り2車線 についても平成22年12月開通を予定しており、全 線開通後はさらなる渋滞緩和が期待されます。

【整備効果(通過時間短縮効果)】

東京方向トンネル開通3ヶ月後調査の結果、国 道1号上り藤沢から原宿交差点までの約5kmの最 大通過時間※は約19分で、開通前(H18)と比べ ると約27分の短縮効果を確認しています。

原宿交差点 完成イメージ 至)藤沢

東京方向(上り線)トンネル開通後の整備効果



※最大通過時間帯は8時台

お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局横浜国道事務所 計画課 神奈川県移動性(モビリティ)向上プロジェクト係

> 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 電話: 045 (316) 3536 FAX: 045 (316) 3551



神奈川県移動性(モビリティ) 向上プロジェクト係 行

իլիկիկինիկիլ իրակրերերերերերերերերերերեր

性別年齢	1. 男性 2. 女性 1. ~20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代~	=
ご住所		区 订 叶
日常の移動で最も 1. 自動車(自分で連転) 4. バス 頻繁に利用する 2. 自動車(他の人が運転) 5. 二輪車		

頻繁に利用する 交通手段 ご白身で白動車

3. 鉄道 1. 平 7休 「ともにほぼ毎 | 利用 2. 平日中心 (通勤、業務、買物、通院など) 3. 休日中心(買物、観光など)

を運転する頻度 4. 自身で運転することはほとんどない 5. 運転しない または免許を保有していない

パンフレット(回答ハガキ付き)内側面

